

令和6年度
入学試験問題

第3回
社 会

- 1 問題用紙は指示があるまでは開いてはいけません。
- 2 開始のチャイムが鳴ったら、最初に問題用紙と解答用紙に受験番号と氏名を記入して下さい。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。
- 4 解答は特に指定のないかぎり、漢字・ひらがなのどちらでもかまいません。
- 5 問題は1ページから8ページまであります。

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

森村学園中等部

1

以下の①から⑤の文は、歴史における「道路・道」に関する文です。文を読み、各問いに答えなさい。

- ① 急速に近代化を進め、中央集権国家造りが進められたこの時代、殖産興業を進めるために、輸送・交通が整備された。この時代が始まるとすぐに、新橋・横浜間に鉄道が開通するなど、道路よりも鉄道が重視された。道路は前の時代のものがそのまま利用された。国道が制定されたのは鉄道開通よりも10年以上遅く、1号線は東京・横浜、2号線は東京・大阪間であった。なお、道路の幅は12.7mとされた。
- ② この時代には、幕府が置かれた土地を中心にして道路が整備された。こうして作られた道路で特に有名なものが、「〇〇街道（道）」とこの地の名称がつけられた道路である。こうした道は、「いざ〇〇」という言葉に表されるように、將軍と主従関係を結んだ御家人たちが、幕府の戦いに参加したり、各地で起こる反乱に対応したりするための軍事的な道路であった。こうした軍用道路は、反抗をする側にも同様に便利な道だった。朝廷側について（ A ）はこの街道を進み、幕府軍を打ち破り、街道と海から、この地に入り、幕府を滅ぼすことになる。
- ③ 「土地は山がけわしく、深い森が多い。道路は自然に手つかずの『けもの道』のようである」
これは中国の（ B ）の使者が対馬を訪れたときの記録である。使者はこのあと、九州に上陸し、邪馬台国を訪問したとされる。おそらくこの時代には「道路」は九州でも、邪馬台国でもそれほど変わらないものであっただろう。中国では秦の時代から、巨大な道路網が整備されていたため、日本の道路は自然のけもの道のようであったのだろう。この時代のあとには、中国を見習って、道路の建設が始まることになる。
- ④ 中国に強く影響を受けた政府が、大きな都を造営し、急速に律令政治を整えたこの時代、政府は、国分寺・国分尼寺を作り、その支配地は東北にまで広がっていった。この時、政府は中国をまね、全国に巨大な道路を建設した。この道路はその用途のためか、幅12mで、できるだけ直線になるように作られ、総延長は実に約6300kmにも及んだ。この時代には蝦夷などの政府に従わない勢力も多く、いち早く地方の情報を入手する必要がある。こうした情報を得ることと、軍を派遣するのが巨大な道路網の目的であった。
- ⑤ この時代には、大名の移動が活発になったこともあり、交通網が発達し、経済的・文化的に大きな発展が見られた。幕府は五街道を整備し、多くの街道に並木を設置していった。なお、この時代は五街道のような主要な道路であっても幅3.6m程度の細い道路で、くねくねと曲がった道路であった。これは五街道が、農民など庶民の生活道路を利用して作られたためであった。

問1 ①から⑤はそれぞれ何時代の出来事ですか。次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア. 旧石器時代 イ. 縄文時代 ウ. 弥生時代
エ. 古墳・飛鳥時代 オ. 奈良時代 カ. 平安時代（院政期を除く）
キ. 院政期・鎌倉時代 ク. 室町時代（南北朝時代を含む）・戦国時代
ケ. 安土桃山時代 コ. 江戸時代 サ. 明治時代 シ. 大正時代
ス. 昭和前期（第二次世界大戦敗戦まで） セ. 昭和後期（第二次世界大戦敗戦後）

問2 ①の下線部について、新橋・横浜間の鉄道開通から5年後、この列車に乗っている時に、大森貝塚を発見したアメリカの動物学者は誰だれですか。答えなさい。

問3 ②の（ A ）に当てはまるのは誰ですか。次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 平将門 イ. 北条時宗 ウ. 足利義満 エ. 新田義貞 オ. 北条義時

問4 ③の（ B ）には、中国の王朝名が入ります。邪馬台国のことが書かれている本の名前から考え、この王朝名を答えなさい。

問5 ④の時代に、民衆の生活のために橋やため池などをつくり、東大寺大仏建立にも協力した僧は誰ですか。答えなさい。

問6 ⑤の下線部「五街道」について、次の中から「五街道」に当てはまらないものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 東海道 イ. 奥州街道 ウ. 日光街道 エ. 山陽道 オ. 中山道

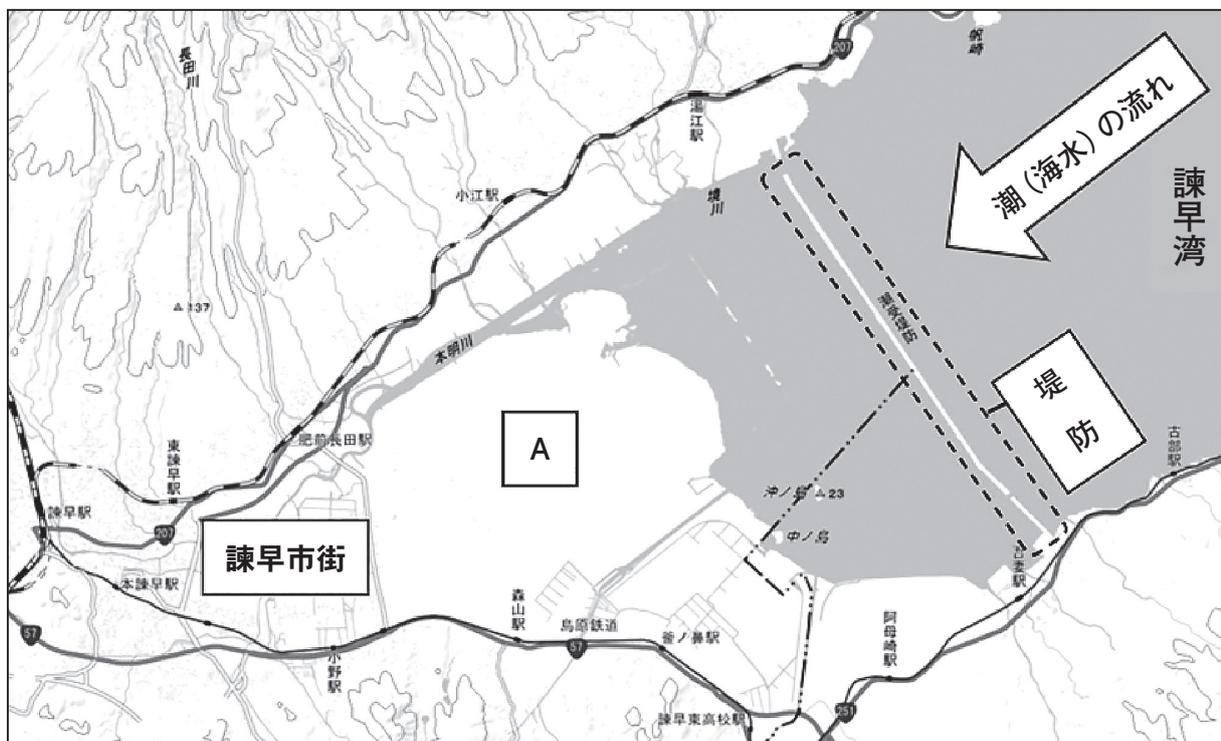
問7 日本で初めての高速道路は1963年に完成した名神高速道路です。このあと東名高速を初めとして、次々と高速道路が建設されました。1966年段階の高速道路建設計画の総延長は、北海道を除くと、約6500kmでした。そのルートも④の道路と同じようなルートになっているところが数多くあります。ところが、全国に広がった⑤の五街道と同じルートとなった高速道路はあまり多くはありません。これはなぜだと考えられますか。早く短い時間で移動するという高速道路の目的を考え、なぜ⑤ではなく、④の時代のルートに似かよったのかを説明しなさい。

2

以下の文を読み、問いに答えなさい。

古くから、人間は土地の生産力上昇・経済の活性化・災害対策など、様々な目的のために知恵を絞^{しぼ}り、人の手によって自然を作り変えてきた。例えば、①政令指定都市として日本有数の大都市となった横浜も、江戸時代初期から進められた干拓工事で出来た土地の上に広がっている都市である。横浜だけでなく、江戸時代には幕府によって多くの②湖沼・海を埋め立てて新しい土地を作る新田開発が盛んに行われた。また、水害対策や水運を便利にすることなどを目的に、③当時江戸湾（現在の東京湾）に直接注いでいた利根川の流れを変える工事^{かんきょう}も実施された。当然、ショベルカーなどはないので、工事は全て人の手によって行われた。

一方で、人間が進める「土地の改良」は、地域の自然環境に大きな変化をもたらし、そこに住む人間や人間以外の生物に様々な影響^{およ}を及ぼす可能性がある。【地図】は、④長崎県にある諫早湾の様子を示している。⑤地図中の「諫早市街」に暮らす人々は、諫早湾内に形成される干潟の影響で、昔から高潮や洪水の被害に悩まされていた。そのため、国と県は1997年に堤防^{ていぼう}を建設して海水の流れをせきとめ、湾内の干拓工事を進め、高潮の被害をおさえることに成功した。しかし、地元の一部の漁業関係者は、干拓工事によって海の環境が変わり、魚介類の数が減少したとして、2002年には国や県に対して堤防の開門を求める裁判を起こしていた。しかし、干拓によって新たに生まれた土地（地図中A）は多くの人々の生活を支えているため、農業関係者を中心に開門に反対する運動も起きている。



【地図】長崎県の諫早湾 (出典:「国土地理院地図」より)

問1 下線部①について、現在関東地方に存在する5つの政令指定都市のうち、神奈川県内には横浜市^{ふく}を含めて3つ存在しています。横浜市^{以外}の政令指定都市の名前を2つ答えなさい。

問2 下線部②について、右の地図は、島根県の県庁所在地（地図中「●」）に面している宍道湖を示しています。この湖についての説明文X・Yのうち、内容の正誤の組み合わせが正しいものはどれですか。次のアからエの中から1つ選び、記号で答えなさい。



(出典：「国土地理院地図」より)

X：地図中「●」の都市名は出雲市である。

Y：淡水と海水が混じった湖で、しじみの養殖がさかんである。

- ア. XもYも正しい。 イ. Xは正しいがYは^{まちが}間違っている。
 ウ. Xは間違っているがYは正しい。 エ. XもYも間違っている。

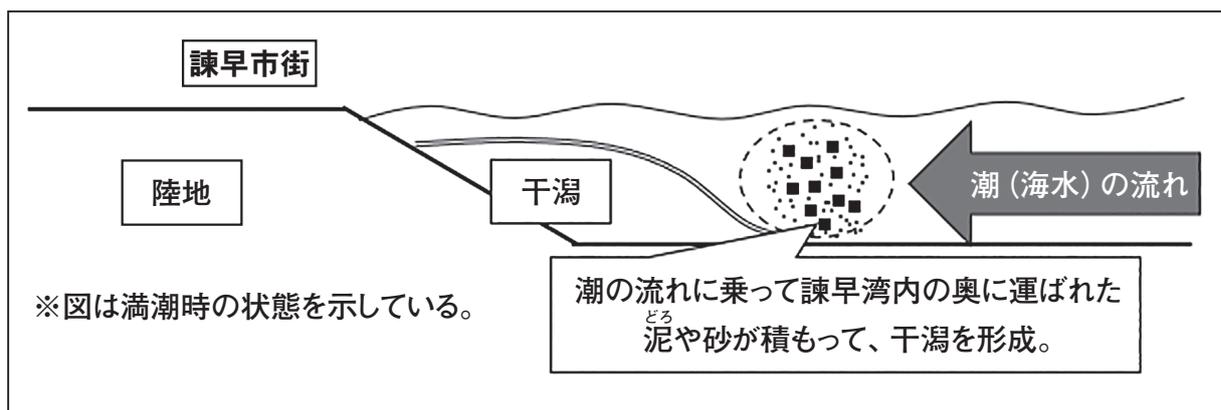
問3 下線部③について、現在の利根川^{じょうきょう}の状況を説明した文章として正しいものはどれですか。次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 日本の^{かせん}河川の中で流域面積が最も広く、日本海にそそいでいる。
 イ. 日本の河川の中で流域面積が最も広く、太平洋にそそいでいる。
 ウ. 日本の河川の中で水源から河口までの^{きょり}距離が最も長く、日本海にそそいでいる。
 エ. 日本の河川の中で水源から河口までの距離が最も長く、太平洋にそそいでいる。

問4 下線部④について、1991年6月の噴火^{ふんか}時、大規模な火砕流^{かさいりゅう}の噴出^{ふんしゅつ}などで40名の死者を出した長崎県内にある活火山の名前は何か。次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 桜島 イ. 霧島山 ウ. 阿蘇山 エ. 雲仙・普賢岳

問5 下線部⑤について、以下の断面図は、諫早湾内に干潟が形成される過程を示しています。なぜ、かつての**諫早市街**では高潮や洪水の被害が起こりやすかったのですか。図を参考にしながら、考えられる理由をわかりやすく説明しなさい。



3

以下の文を読み、問いに答えなさい。

昨年、マイナンバーカードをめぐるトラブルが相次ぎました。そもそも、マイナンバーとは、日本に住民票を有するすべての人に一人ずつ^{あた}与えられる12ケタの番号です。日本では、2013年にいわゆる①マイナンバー法が制定されました。マイナンバーは、社会保障、税、災害対策の3分野で、複数の機関に存在する個人の情報が同一人物の情報であることを^{かくにん}確認するために、国や②地方公共団体、勤務先、金融機関、③年金・医療保険者などによって活用されます。2016年からは、申請すればマイナンバーが記載されたカードを受け取ることができるようになっています。マイナンバー制度には、役所での手続きの簡素化などのメリットがある一方で、マイナンバーカードに関するトラブルが相次いでいる状況も指摘されています。例えば④マイナンバーカードに他人の住所や病院の受診履歴などが登録されていたというような、個人情報^{はんにい}が流出していた事例が明らかになっています。また、マイナンバーに結び付けられる情報の範囲が拡大されつつあり、⑤国による国民監視が強まる恐れもあります。

問1 下線部①について、日本国憲法第41条で「国の唯一^{ゆいいつ}の立法機関である」と定められている機関は何ですか。答えなさい。

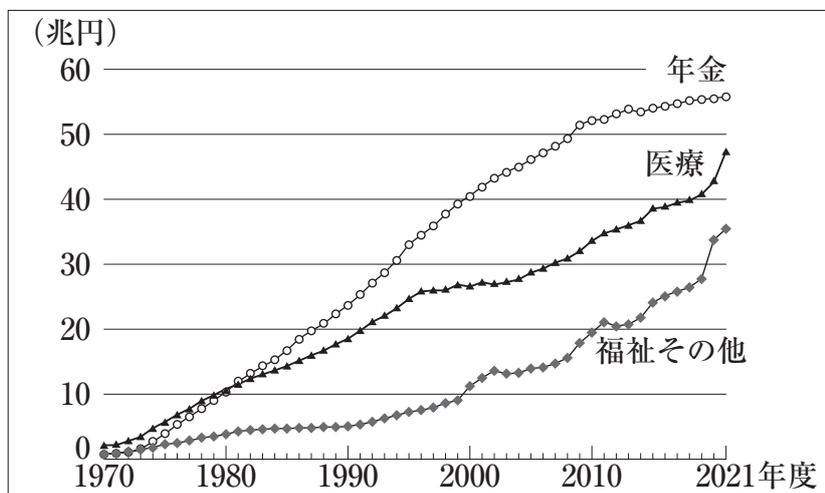
問2 下線部②について、地方公共団体の行う仕事にあてはまらないものはどれですか。次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 学校や図書館の運営 イ. 上下水道の整備 ウ. 警察 エ. 裁判

問3 下線部③について、下のグラフは、国が人々に与える社会保障給付費を、「年金」・「医療」・「福祉その他」という3分野に分けて、それぞれの推移を示したものです。このグラフについて書かれたアからエの文の中から、正しい説明を1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 1970年以降、「年金」の給付は常に一番多い。
 イ. 「医療」の給付は、近年、コロナ禍^かを背景に急増した。
 ウ. 「福祉その他」の給付は、連続して減り続けている。
 エ. 社会保障給付費は全体的に減少傾向^{けいこう}にある。

部門別社会保障給付費の年次推移



(出典：令和3年度社会保障費用統計より作成)

問4 下線部④のような事例は、基本的人権のうち、どのような権利の侵害しんがいにあたるといえますか。次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 選挙権 イ. 団体行動権 ウ. プライバシーの権利 エ. 平等権

問5 下線部⑤「国による国民監視」の例として、「国の組織が主体となって、都市の繁華街はんかがいに路上防犯カメラを多数設置していること」が挙げられます。防犯カメラが多数設置されていることによって、犯罪の防止や、犯罪が生じた場合に見つけ出す可能性が上がり、人々の安全が守られるという利点が指摘されています。一方で、このような国による国民監視の強化が進むと、健全な民主政治をおびやかすおそれがあります。なぜ、そのようなおそれがあるといえるのですか、考えて答えなさい。

4

下の言葉の中に、ある見方でみると一つだけ性格の異なるものがあります。それはどれですか。記号で答えなさい。また、それ以外の言葉に見られる共通点は何ですか。説明しなさい。

例題 [ア. 縄文 イ. 奈良 ウ. 鎌倉 エ. 横浜]

ア	他はすべて都市の名前
---	------------

問1 ア. 豊田 イ. 日立 ウ. 鹿島（鹿嶋） エ. 水戸

問2 ア. 学問のすすめ イ. 蘭学事始 ウ. 解体新書 エ. 古事記伝

5

以下の文を読み、問いに答えなさい。

問1 昨年5月に、戴冠式たいかんしきを挙げたイギリス国王は誰だれですか。名前を答えなさい。

問2 昨年5月、ウクライナのゼレンスキー大統領が参加したことでも話題となった、G7サミットはどこで行われましたか。都市名を答えなさい。

6

以下の会話を読んで、問いに答えなさい。なお、文中の森村さんの発言を「森」、お父さんの発言を「父」と表記します。(この問題は2023年に作成したものです)

父：2011年に生まれたあなたがもうすぐ小学校卒業。感慨深いなあ。

森：私が生まれた年はどんな年だったの？

父：①東日本大震災が3月に起こって、地震・津波・火災によって普段過ごしていた街並みや暮らしが完全になくなった地域が多くあったんだ。そしてその後にもまもなく起こった原発事故もあって、この先の日本が果たしてどうなっていくのか、不安に思ったよ。

森：そうか……。地震が起きた際の行動とか学校で勉強したけれど、実際に災害が起きたときにはどのように行動したらよいか不安だなあ。どういう対策ができるんだろう？

父：災害対策は3つに分けることができ、②「自助」「共助」「公助」という。「自助」とは自分の身を自分で守ること、「共助」とは地域社会の人たち同士で助け合うこと、「公助」とは市町村や県、国といった公的機関による救助・援助のことを言うんだ。自分にはどれが足りていて、どれが足りていないと思う？

森：自助に関しては何かあった時のための非常食の準備はできているし、その3つの中では一番足りていると思う。けれども、私は地域や国が取り組んでいる防災の対策は全然知らないし、地域のつながりもほぼないと思う……。「公助」と「共助」に関して非常事態の時のイメージができないな。

父：そうなんだよ。あなたのその意見は実際にデータにも出ているんだ。2022年の内閣府の世論調査によると、自然災害が起こった時に被害を少なくするために「自助」、「共助」、「公助」のどれに重点をおくべきと考えているか聞いたところ、自助の割合が高くて、「『自助』に重点をおくべき」と答えた人の割合が「『公助』に重点をおくべき」と答えた人の割合の約3倍となったんだ。このデータの結果は、「自助」が一番大事と考える人が多いというよりも、実際に災害が起きたときに「公助」と「共助」が私たちにどう影響するのか具体的なイメージが湧かないからではないかとも考えられる。

森：そうなんだね。

父：でも自分たちの身を守るためにも、「公助」と「共助」も高めていく必要があると私は思うんだ。まず「公助」に関して東日本大震災を例に考えよう。地域で実施している避難訓練なども「公助」に分類される。当時の被害想定を大きく上回る規模の津波が押し寄せた東日本大震災では、避難訓練と同様に市民が行動できたとしても、被害が出てしまったんだよ。地域で決めていた避難場所が津波に飲み込まれた場所も多くあって被害が拡大していったんだ。

森：え！ しっかりと避難訓練通りに行動していたのに！

父：私たちは普段行っている避難訓練をマニュアル通りにやるのが重要だと思っている。けれども、避難訓練などの「公助」の取り組みが本当に十分なのかという批判的な視点で分析する機会は少ないよね。近年、自然災害が多発する中で、「観測史上最大」や「数年に一度の」等の災害情報がメディアを通じて毎年のように流れてくるように、自然災害は人間が予測しているもの以上に巨大なものが起きる可能性がある。だからこそ、これまで想定さ

れていたレベル・内容をはるかに上回る自然災害がくるときに備えて、③ すれば、実際の時も被害を少しでも減らすことができるのかもしれないね。

森：確かに、最近の自然災害は年々被害が大きくなっている気がするな。「共助」に関してはどうなの？

父：現在の日本は少子高齢化や産業構造の変化によって地域社会のつながりはかなり薄くなっている。でもこの状況を打破するのはかなり難しいのではないかな。

森：今のままだと災害にあったときに、周りの協力もなくて自分一人で乗り越えなくてはいけないのはすごく不安だな。国によって命令された形ででも地域社会の協力やつながりを強化するべきだと思うんだけど、それはどうなの？

父：国などが地域社会の協力を強制してくることは危険性もあるんだよ。1923年に起きた関東大震災をきっかけに、火災が大規模に発生した際に「住民同士の団結」が強調された。その後、防災活動を担うために各地に住民の協力を求める町内会が多く組織されたんだよ。ただ、戦争の機運が近づいてくると、その町内会を中心に防空演習が多く行われた。その後、地域の町内会を元に十軒程からなる隣組が制度化されたんだ。この制度は配給などを連帯責任で管理し合う目的であったんだけど、実際は④ という問題点が生じてしまったんだ。

森：じゃあ、結局どうすればいいんだ……。

父：命令されて行うのではなくて、自分たちで意識して自分事として防災に取り組む必要があるのではないかな。地域のイベントに出向くだけでも、つながりが少しでも生まれるかもしれない。実際に災害が起きた際には、⑤「自助」だけに頼ってしまうことでは守ることができる命も失ってしまう可能性がある。だからこそ、「公助」が機能しているかしっかりと検討しつつ、できる範囲での「共助」を考えていく必要がある。3つとも全て自分事に考えていくことが大事なかもしれないね。

森：いざ実際に行うとなるとかなり難しそう。けれど、少しずつ自分のできることを考えていこうかな。

問1 下線部①について、東日本大震災では東北の太平洋側に見られる海岸の特徴から、津波の被害が拡大しました。この海岸の地形を何といいますか。名前を答えなさい。

問2 下線部②について、以下の防災対策から「自助」「共助」「公助」にあてはまるものをそれぞれ2つずつ選び、記号で答えなさい。

ア. 自宅の耐震化を行う。

イ. 自治体が防潮堤を建設する。

ウ. 自ら進んで避難場所での避難支援を行う。

エ. 自分で防災グッズを用意する。

オ. 気象庁が緊急地震速報を出す体制を整備する。

カ. 隣人の安否確認をする。

問3 ③ に当てはまる文を前後の文脈を踏まえて、答えなさい。

問4 ④ に当てはまる文を自分で考えて、答えなさい。

問5 下線部⑤について、災害の対策を「自助」といった個人の活動のみに頼ることの問題点は何ですか。考えて答えなさい。